

令和4年度普及活動アルバム

上田農業農村支援センター

令和4年度は、昨年度までのような新型コロナウイルス感染症へのまん延防止対策を考慮した活動方法から、地域の感染状況を見極めながらではありますが、従来の普及方法に“もどしながら”の活動となりました。

当センターでは、重点課題としてブロッコリーの生産安定と産地力の強化について、プロジェクトチームを組織しながら活動を行い、上田地域での面積の拡大や新規就農者の早期経営確立に向けた活動に取り組み、一定の成果を得ることができました。

一般活動では、各作目の生産振興や、担い手の確保・育成をはじめ、スマート農業の推進、地域特産品の振興等に取り組みました。



【通年】重点課題「ブロッコリーの生産安定と出荷期の長期化等による産地力の強化」

地域の重点品目であるブロッコリーの生産振興のための取組を行いました。

関係機関と緊密に連携を取り活動を進め、べた掛け栽培等の新技術の導入や新規就農者の経営への技術支援、地域内消費拡大に向けたレシピ集の作成など、産地力の向上に繋がっています。



【6月～】直売所の店舗改善及び魅力アップセミナーの開催

農産物直売所の商品を魅力的に配置し、来店客に多くの商品を手にとってもらうため、店舗レイアウト方法の改善等に向けモデル直売所を設置し、取り組みました。また2月には直売所魅力アップセミナーを開催しました。

今回の結果をもとに、上田地域の直売所に波及していく取り組みを進めて参ります。



【7月】りんご県オリジナル品種「シナノリップ」日焼け果等対策

夏季の高温による日焼け果や着色不良果の発生が課題となっている中で、早生品種は他産地との競合が少ないため、栽培面積は増加傾向にあります。高温障害が比較的発生しにくい7月中旬からの着色管理や多目的ネットの利用、定期的なかん水の実施など関係機関と連携し課題解決を図りながら、産地を支援して参ります。



【9月～10月】小学生を対象とした花育の実施

小さい頃から花にふれあい、興味を持ってもらうため小学生を対象に開催しました。

上田管内で生産されるトルコギキョウなど切花を使ったフラワーアレンジメント作りや、花き生産者のほ場見学し、農家の方から直接お話をさせていただきました。

花育活動は継続した活動が重要であるため次年度も実施して参ります。



【1月】ワイン用ブドウ生産技術セミナー

ワイン用ブドウ生産者の栽培技術・経営管理能力の向上を図るため1月18日に生産者技術セミナーを開催しました。

栽培上の課題と対策、X型自然整枝や垣根栽培の剪定への応用など主に剪定作業についての講演があり、多くの質問が出される等、大変有意義なセミナーとなりました。



【1月】令和4年度上小地区農村女性のつどいを開催

「見つめ直そう！地域の宝！」をテーマに新型コロナウイルス感染症により3年ぶりの開催で、長野大学の古田睦美教授の講演のほか、上田地域で食品加工やクラフトの制作・販売を行っている皆さんのこだわりの商品のPR・販売を行いました。久々の開催を、「日々の生活や地域活動を見つめ直し、活動を始めようと思うきっかけになった」との感想をいただきました。



5月～3月】新規就農者支援セミナー、新規就農者激励会を開催

新規就農者の育成・定着を図るため、就農5年未満の新規就農者を対象としたセミナーを開催しました。

新型コロナウイルス対策を講じた上で、1年ぶりに集合で開催した概要は下記のとおりです。

- ・農業全般の基本的な知識等習得を目的とした「共通講座（土壌肥料、病害虫）」は17名が受講。

- ・専門的な知識と技術の習得を目的とした「専門講座（簿記、果樹、野菜）」は23名が受講。

また、12月21日には、新規就農された皆様を囲んで激励会を開催しました。各青年クラブの紹介や参加者同士の名刺交換など、普段関われない人とも話すことができ、有意義な会となりました。

今後も新規就農者に寄り添った支援を進めて参ります。

